



避難の心得

もしもの災害時のために準備しておきましょう

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、
災害時には、**危険な場所にいる人は避難**
することが原則です。

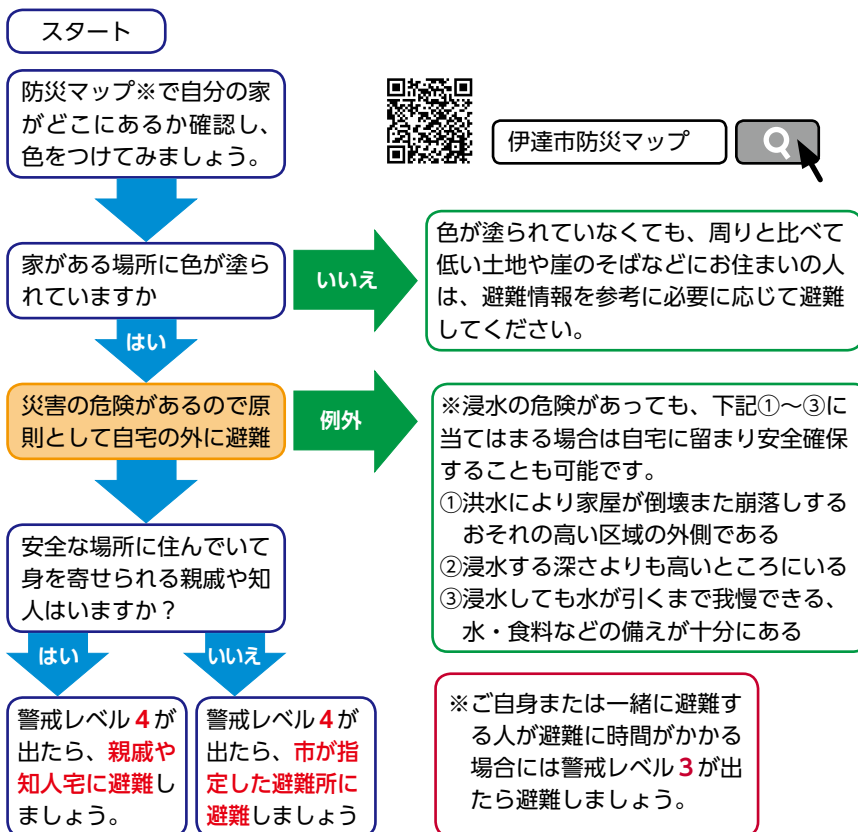
知っておくべき5つのポイント

- ①避難とは【難】を【避】けることです。安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- ②避難先は、市の指定する小中学校・交流館などだけではありません。安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
- ③マスク・消毒液・体温計が不足しています。その他避難所で必要となる物も含めて、できるだけ自ら携行してください。
- ④市が指定する避難場所、避難所を改めて確認しましょう。
- ⑤豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況を十分確認してください。

避難所に入ったら

- 密閉、密集、密接は避けるようにしましょう
 - ・他の避難者との距離は2メートル程度空けるよう心掛けましょう。
 - ・密接した状態での会話は避けるようにしましょう。
 - ・清掃や換気を定期的に行い、避難所を清潔に保ちましょう。
- 手洗いや消毒を徹底しましょう
避難所では多くの方が生活します。ドアや手すりなど多くの人が触れるものに触れた後や、食事の前、トイレに行った後などにこまめに手洗いや消毒を行いましょう。
- 毎日体調のチェックを行いましょう
 - ・毎日の検温などを行い、体温や体調に変化があった場合は、無理せず避難所の担当者にお知らせください。

今のうちに、自宅が安全かどうかを確認しましょう。



いつ避難すればいい？

警戒レベル4は全員避難！

水害・土砂災害の避難するタイミングを「警戒レベル」でお伝えします。

- 警戒レベル1 (気象庁発表)
心構えを高める
- 警戒レベル2 (気象庁発表)
避難行動を確認
- 警戒レベル3 (市町村発表)
高齢者など避難に時間がかかる人は避難
- 警戒レベル4 (市町村発表)
全員安全な場所へ避難
- 警戒レベル5 (市町村発表)
既に災害が発生している状況のため外に出るのは危険。自宅内の垂直避難など。